

鳴門市

H30 当初予算

H29.3補予算 重点事業

うきうき

活力と魅力あふれる

まちづくり



市内企業おしごと体験事業

☆鳴門市中小企業振興基本条例

『児童及び生徒の勤労観等の醸成』

将来の鳴門を担う人材の育成のため、市、地元中小企業、経済団体等が、地域一体となり、職業に関する理解及び体験の機会等を提供します。

小学生

- 起業体験
- 地元中小企業の見学等



中高生

- 起業体験、地元中小企業研究等
- 地元中小企業経営者等との交流
- インターンシップによる職業体験

社会人

- 社会人及び職業人としての自立
- 地元中小企業への就職
(Uターン就職含む)または起業



『勤労観等の醸成』に資する小・中高での取り組みを、それぞれ『冊子』にまとめ、年1回発行

☆小学生版のねらい
『お金』や『仕事』を考えるきっかけとなり、早期の『働くこと』への気づきをさそう

☆中高生版のねらい
生徒及び保護者等が、『就業』を意識し、地元中小企業への理解を深めることにもつながることで地元就職をも促進

⇒冊子を通じて市内全域へ！

農家で働こう！！ 農業生産力の向上を目指して

農作業無料職業紹介所運営協議会負担金

事業の目的

J A 徳島北・J A 板野郡の管内において無料職業紹介所を開設するための支援を実施します。農業に関心のある地域の住民を求人農家に紹介することで農業の人手不足の解消と新たな担い手の発掘を図ります。

現 状

繁忙期の人手が不足

- 鳴門らっきよ

4月～6月にかけての出荷期の切り子不足



- なし

4月の交配、5月～6月の摘果、8月の収穫の時期の人手不足



- れんこん

1 2月の出荷期の人手不足



施策の方向

無料職業紹介所の開設

J A・市町・県農業支援センターによる「農作業無料職業紹介所事業推進協議会」を開設。

農業に関心のある地域住民と求人農家のマッチングを図る。

※ 市からは協議会運営のための負担金を支出。

農業の人手不足の解消と
新たな担い手の発掘を図る。



**① 徳島東部地域DMO広域観光
推進事業**

200万円

- 徳島東部に位置する15市町村や
県内の民間事業者連携による
「DMO」設立



**② 多言語観光情報サイト
構築事業**

218万円

- 多言語対応した観光情報サイト
の立ち上げ



観光振興による地域経済の活性化

③ 鳴ちゅるうどんPR事業

86万円

- 各種イベントへの出店やうどん
教室等の開催
- ご当地グルメによる地域活性化



**④ トリーテなると企画展開催事業
～明治150周年記念～**

30万円

- 明治150周年記念事業として、
明治生まれの鳴門市ゆかりの
偉人展を開催。

総合戦略推進事業

(1) 四国のゲートウェイ化推進 8,000万円

- ・四国のゲートイベント(グルメ・祭・イルミネーション)
- ・CM制作・放映
- ・拠点整備基本設計



(2) ASAサイクリングツーリズムの推進 6,800万円

- ・サイクリングマップ制作
- ・CM制作・放映
- ・自転車輸送
- ・健康づくりイベント 等



(3) 体幹トレーニングの推進 324万円

- ・体幹トレーニングによる市民の健康づくりとスポーツ技能向上の推進



○まちづくりアドバイザー

専門的見地から市の施策にアドバイスをする、「まちづくりアドバイザー」に2名を委嘱します。

アジア初演「なると第九」 ブランド化プロジェクト推進事業

1918年6月1日にベートーヴェン「第九」交響曲がアジアで初めて演奏されてから今年で100年目を迎えます。鳴門市では、平成25年にアジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクトを立ち上げ、産学官民一体となって様々な事業を展開して参りましたが、その集大成として100周年記念事業を実施します。

- | | |
|-------------------|---------|
| ①100周年記念演奏会関連事業 | 3,841万円 |
| ②「なると第九」観光産業化推進事業 | 846万円 |
| ③板東俘虜収容所環境向上事業 | 210万円 |
| ④「なると第九」啓発事業 | 135万円 |
| ⑤「なると第九」次世代育成事業 | 65万円 |



「第九」
アジア初演
100周年

- ・100周年記念開幕イベント 5/27
- ・松江豊壽所長銅像除幕式 6/1
- ・よみがえる「第九」演奏会 6/1
- ・100周年記念演奏会 6/2, 3 など

ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業

【主な事業】

- 資料保存調査検討事業 148万円
- ユネスコ「世界の記憶」講演会 49万円
- 「板東俘虜収容所」関係資料
周知啓発展示会 217万円
- 資料レプリカ作製事業 200万円
- ドイツ館所蔵資料図録製作事業 110万円

「板東俘虜収容所」関係資料のうち、日本とドイツが戦争の壁を乗り越え互いに尊重しあった歴史的交流により残された類まれな活動の記録をユネスコ「世界の記憶」への登録を目指します。





「ドイツ兵の慰霊碑」保存修復事業



**建立後約100年が経ち
風化が進む慰霊碑の
保存修復を実施**

**「板東俘虜収容所」の
記憶を伝える
貴重な文化遺産を保存し
守り伝えます。**

ずっと笑顔で
生きがいを感じる
まちづくり



1. 高齢者インフルエンザ予防接種 2,815万円

インフルエンザの蔓延を予防するため、予防接種を受けやすい体制の整備を図ります。

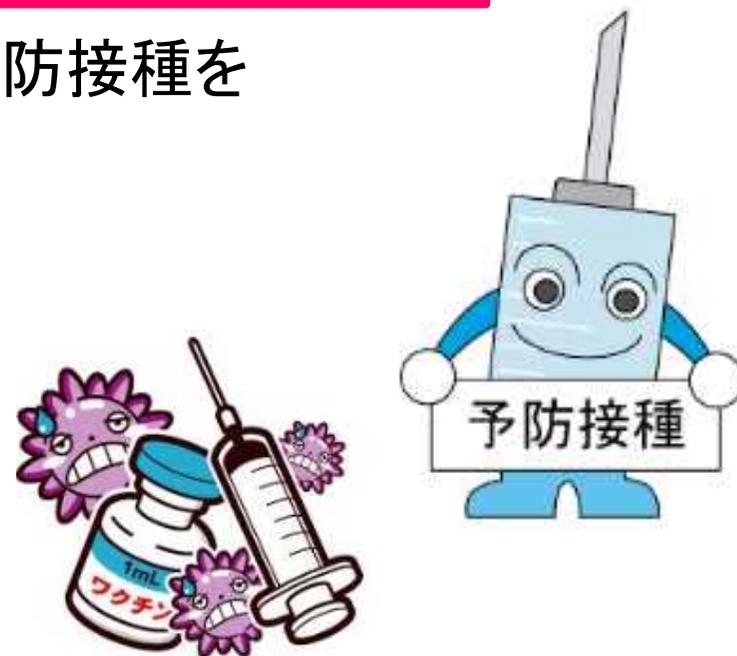
①接種可能な医療機関を鳴門市内から徳島県内へ広域化(平成29年度より)

②自己負担額の引き下げ

平成29年度
1,850円

→

平成30年度
1,600円



2. 新生児聴覚検査助成事業 239万円



聴覚障がいを早期に発見し、早期療育を図るために、新生児聴覚スクリーニング検査の費用を公費負担します。



子育て環境のさらなる充実を目指して

いきいき保育環境なると補助金のメニュー拡充



追加

- ・保育施設のAED設置を支援
- ・侵入者対策の充実を支援
- ・保育士等の労務環境改善のための支援

1,775万円
(継続事業を含む)

ニーズ調査

新

**鳴門市公立保育所再編計画
策定審議会の設置**

22万円

今後の公立保育所のあり方や
施設整備の具体的な計画を策定

**第2次子ども・子育て支援事業
計画策定**

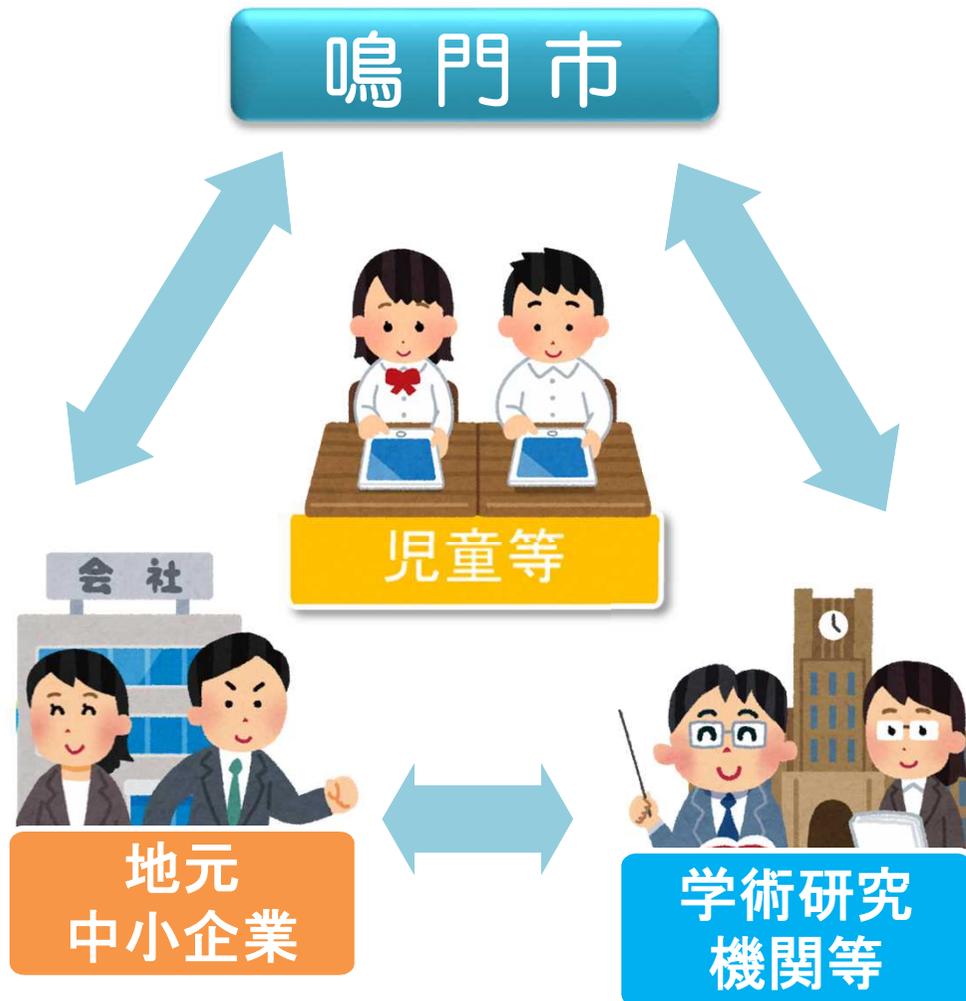
200万円

- ・教育・保育の現状と潜在ニーズの把握
- ・第1次子ども・子育て支援事業計画との
比較・分析の実施



ICT活用教育推進事業

将来の鳴門を担う人材の育成をめざして！



『ICT』に早期からふれることで、児童等の将来の職業選択の可能性を広げることにつながる

⇒ 市、地元中小企業、学術研究機関等が連携し、児童等がプログラミングの初歩を体験する機会を提供する

①プログラミングにふれる『きっかけ』づくり
プログラミングに対する興味『芽生え』

↓
②その後の学習で、『プログラミング的思考』等を育む
⇒日常生活等の課題を自力で解決する力を養う

↓
③将来の鳴門を担う人材育成へつなげる



学力向上施策
子どもたちの学力向上をめざして



① 理数オリンピック開催事業
14万円

理数好きの生徒を増やして、
学力向上を!!

「2017鳴門市数学オリンピック」の科目を理科にも拡大、
市内中学生の理科・数学に対する興味や意欲を伸ばす。

③ 特別支援教育用 
タブレット整備事業
1,010万円

特別支援教室にタブレット整備!!
タブレットの活用で、
特別支援教育の充実を目指します。

② QUアンケート実施事業の拡充
171万円

QUアンケートの実施対象者を
小学3年生 → 小学3~6年生
中学1年生 → 中学1~3年生 へ拡充

子どもたちが安心して学習できる
環境づくりを支援!!

④ 小学校 電子黒板整備事業
2,800万円

3・4年生用 電子黒板整備!!
「わかる授業」の展開により、学力向上を目指します。



H29.3月補正	3億6,741万円
H30当初	10億4,100万円

もつと安全・安心

学校施設耐震化推進事業

①第一中学校校舎改築事業

第一中学校第3期工事を引き続き実施します。

10億4,100万円



第一中学校完成イメージ

②小中学校非構造部材耐震化推進事業

地震による落下物や転倒物がないよう、照明器具・窓ガラスなどの非構造部材の耐震化を進めます。

3月補正 3億6,741万円

小学校：林崎小、第一小、里浦小、
鳴門東小、鳴門西小、
明神小、大津西小、堀江北小、
堀江南小、板東小

中学校：第二中、鳴門中、瀬戸中

H29.3月補正 1億4,243万円
H30当初 1,230万円

子どもたちに
快適な教育環境を！

学校施設大規模改修事業

①学校トイレ環境改善事業

子どもたちの生活環境の
変化に対応した洋式化や
老朽改修などトイレ環境の
改善を図ります。

改修工事：桑島小、里浦小、
大津西小
改修設計：堀江南小、鳴門中



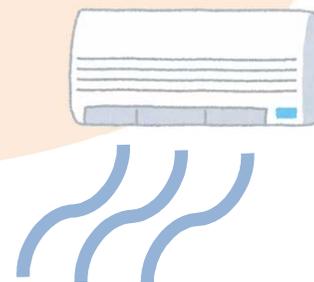
1億4,893万円

(うち1億4,243万円は3月補正)



②幼稚園空調整備事業

園児の教育環境の
充実を図るため、
幼稚園の空調整備の
設計を行います。



580万円

しっかり
安心・快適
住み良いまちづくり



災害時妊産婦乳児救護所 資機材整備

35万円

大規模災害時に、妊産婦や乳児に対する支援の充実を図るため、妊産婦乳児救護所を開設することとしています。妊産婦・乳児救護所の円滑な開設や運営に必要な分娩セット等備品を整備します。



災害用備蓄事業

959万円

災害時に備え、携帯トイレや食料等の備蓄を計画的に行います。携帯トイレについては、「徳島県災害時快適トイレ計画」に基づき、3日分の目標に向け、計画的に備蓄を進めていきます。また、使用期限・賞味期限を迎える備蓄品の更新を行います。

(主な備蓄品)

携帯トイレ、アルファ化米、粉ミルク、ガソリン缶など



木造住宅耐震化促進事業

災害への備えを促進するため、
これまでの補助制度を拡充します！

木造住宅耐震改修支援補助金 **拡充**

- 補助額上限 80万円 → 110万円
- 補助対象数 10棟 → 15棟



消防機能強化事業

「命を守る地域防災力の強化」

～市民の生命と財産を守るため、災害に負けないまちづくりを強力に推進します！！～

① 消防団詰所耐震化推進事業 2,941万円

「消防団詰所耐震化計画」に基づき、耐震基準を満たしていない分団詰所の耐震化を推進します

- 2分団(段関、備前島)の耐震診断
- 3分団(矢倉、折野、徳長長江)の改築工事設計
- 里浦仲分団の耐震改修工事に着手



② 消防団詰所改修事業 1,500万円

耐震基準を満たしている分団詰所について長寿命化を年次計画的に行います

- 畳・サッシ・トイレの水洗化・防水塗装等

③ 高規格救急自動車の更新 2,850万円

救急体制の充実を図るため、高規格救急自動車を更新します。

人権福祉センター大規模修繕及び耐震改修工事

①有利な補助制度を活用

工事費の3/4が補助される
地方改善施設整備費補助金を
活用

国：1/2（約1億2,900万円）
県：1/4（約6,450万円）
市負担は1/4（約6,450万円）
※うち起債額4,830万円



②工事の概要

- RC(外付鋼板内蔵ブレース)補強を実施【耐震化】
 - ・外部作業のみで施工可能
 - ・工期短縮と経費節減が期待
 - トイレ洋式化や多目的トイレの新設など避難所機能強化
 - 老人ルームの畳部分、応接室スペース拡大など住民要望を反映
 - 全館天井、床面改修と照明LED化
 - 外壁、窓、屋上等の防水など
- ☆ 工期は6か月を予定し、工期中は人権福祉センター使用不可
→近隣の川崎会館で同センター業務を実施

公民館耐震化事業及び

リニューアル修繕事業

5,099万円

- 大津中央公民館の耐震改修工事を行います。
- 公民館リニューアル計画(H29～H30)に基き、里浦・北灘公民館の修繕等を行い、長寿命化や利用者の快適性を高めます。

図書館耐震・施設改修事業

3億930万円

- 図書館の耐震化とあわせ、来館者専用エレベーターの新設など利用者のニーズに応じた図書館機能の充実と施設の多機能化を図ります。
- 老朽化した移動図書館車を更新し、図書館のリニューアルに合わせて運行します。



おおきく躍動

みんなで作る

まちづくり



公共施設等総合管理計画の推進！

1. 市役所本庁舎整備事業

① 有識者会議開催費用 24万円

有識者会議を開催し、専門的見地からの意見を仰ぎながら、着実な庁舎整備事業の推進を図ります。

② 庁舎施設に係る現状調査業務 800万円

「利用者起点」の空間づくりを念頭に、庁舎施設が抱える課題への対応策について分析・整理を行います。

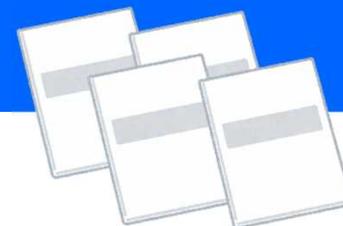


2. 公共施設等総合管理の検討

各公共施設の現状、今後の管理方針を示す

個別施設計画の策定業務 171万円 (※H31までの2か年事業)

個別施設計画の策定に向け、施設コストの算定・分析、現況把握業務など、一部業務を委託により実施します。



★ **コンビニ証明書交付サービス導入**



<いつでも>

毎日、6:30~23:00
 (※ただし、年末年始の12月29日
 から1月3日を除く。)

<どこでも>
 全国のコンビニエンスストア等の
 店舗で受け取りが可能。
 (鳴門市庁舎内にも交付機設置予定!!)



<かんたんに>

店舗内に設置されているキオスク
 端末(又はマルチコピー機)を使って
 カンタン操作で受け取りが可能。

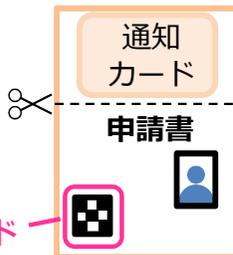
取得可能 証明書	・住民票の写し等 ・印鑑登録証明書 ・戸籍の附票の写し	350円	➡	250円(予定)	窓口交付より 100円 安くなる予定 です!
	・戸籍謄抄本の写し	450円	➡	350円(予定)	

市民課窓口でも
申請可能です。

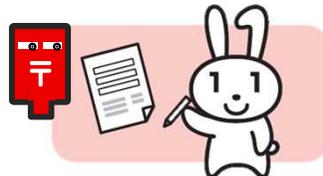
サービスのご利用には**“マイナンバーカード”**が必要です。申請はお早めに!



カードの
申請は



<郵送で>



<パソコンで>



<スマホで>



<証明写真機で>*



※機器の対応をご確認ください。



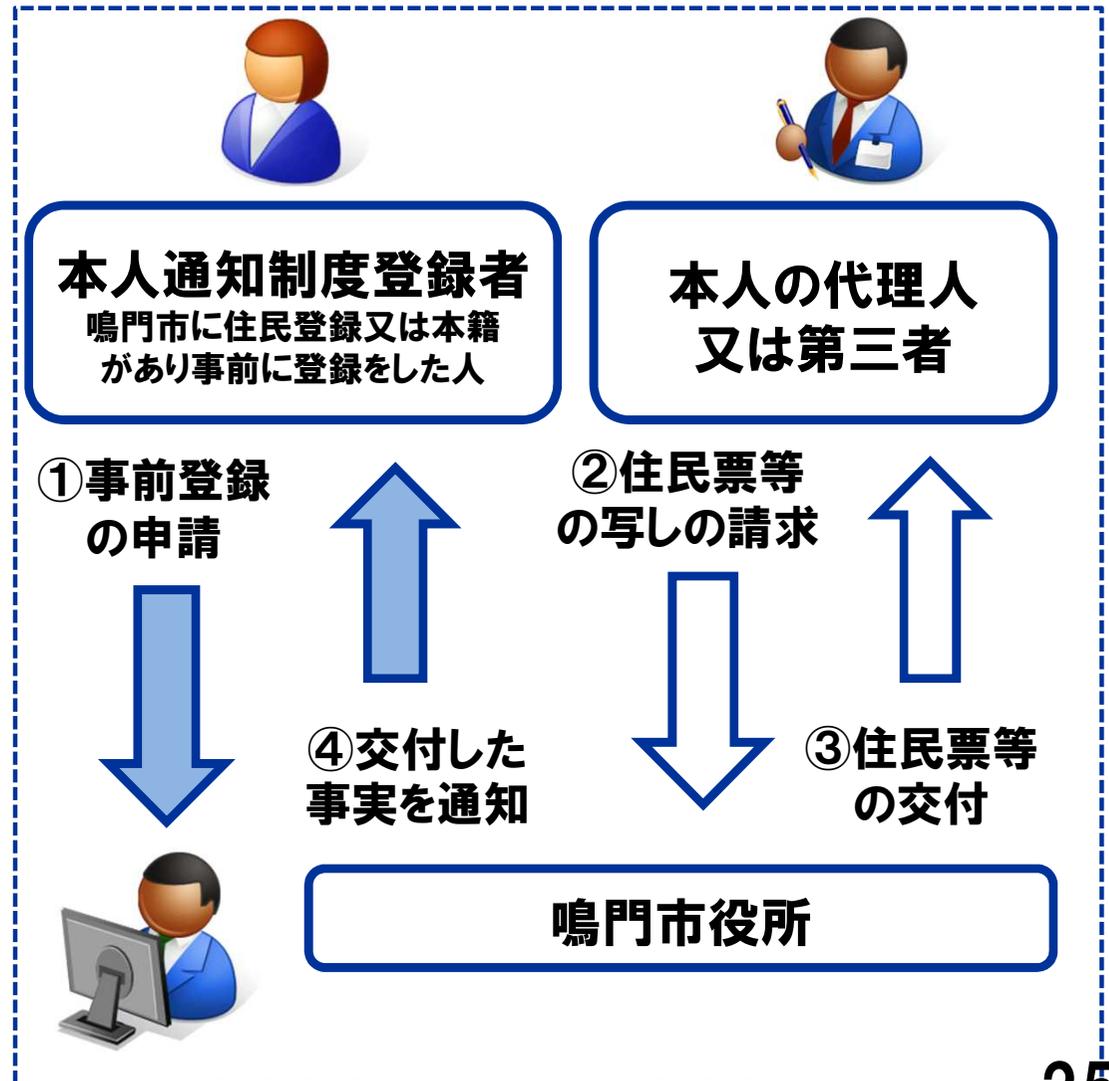
市民課窓口業務における住民サービスの拡充

事前登録型本人通知制度導入事業

●本人通知制度とは

住民票の写しや戸籍謄本などの証明を本人の代理人や第三者に交付した場合に、事前に登録されている方に交付の事実を郵送でお知らせする制度です。

この制度は、住民票の写しや戸籍謄本などの不正請求の抑止及び不正取得による個人の権利の侵害を防止することを目的としています。



「ふるさと納税寄附金」 等推進事業

寄附額の目標を3億400万円とし、ポータルサイトを増やすなど、さらなる拡充に努めます。

ガバメントクラウドファンディングも実施します。



■記念品費・事務費等
1億821万円

■委託費等
4,279万円

■ガバメントクラウド
ファンディング補助金
100万円